

私たち宮崎市・生目中の3年生6人は「農業」をテーマに取材した。古くから生目・富吉地区で栽培が盛んな黒皮かぼちゃや完熟マンゴー、宮崎市発祥の日向夏一。取材を通して、100年続く農業を目指して、生産者、JA、行政と一緒に努力を重ねていることが分かった。

テーマは「農業」

② 生目中学校 (宮崎市)

遮光と温度管理大事

宮崎の果物と聞いて真っ先に思い浮かぶ日向夏。本県発祥で生産量約3100トンと全国1位を誇る日向夏の歴史や栽培の苦労、加工品について調べた。「日向夏ものがたり」によると約200年前の文政年間(1818~1831)に旧宮崎郡の赤江村の民家で発見された。宮崎は日向夏と呼ばれ、初夏に収穫してことからその名が付き、研究や品種改良が進み食べやすい今の味となったという。現在、県内で約4600戸が生産し、温暖な宮崎市(清武・高岡・田野町)、綾町、日南市での生産量がおよそ9割を占める。昭和40年代に温州ミカンに代わる特産品を作ろうという動きがあり、栽培が本格化した。JAみやざき宮崎中央地区本部日向夏みかん部会の会長・野崎重光さん(62)は宮崎市清武町船引は30年前に父親から木を受け継ぎ、ハウスと露地で栽培する。取材をした8月には12月の出荷に向けて、ハウス内にできた実の一つ一つ袋かけをしてい



ハウス栽培の日向夏に袋をかける野崎重光さん(宮崎市田野町)

宮崎市発祥の日向夏

「日が強すぎると光合成を行わなくなるので遮光して、温度管理にも気をつけている。袋を外すタイミングも大事」と野崎さん。年によって自然災害や害虫の被害もある中「指導員さんたちと課題を乗り越えたときの達成感はたまらない」と農業の魅力を語ってくれた。日向夏は生産量の約6割は原料になる。見た目の基準が青果ほど厳しくないため、収穫された日向夏はコンテナごと宮崎県農協果汁(川南町)へ運ばれ、果汁を製造。県内外の企業はそれを使ってアイスやお菓子、ドレッシング、ジュースなど、多様な商品を開発している。JA宮崎経済連では県外でフェアや小学生への食育授業を行い、認知度アップを図っている。販売流通課の大牟田好美さんは「果汁を使った商品を通じて日向夏そのものを知ってもらうことで、販売拡大につながればうれしい」と笑顔を見せた。(久留米彩奈、假屋春彩)



みやざき物産館KONETEには100種類以上の日向夏を使った商品が並ぶ

100年続く栽培目指す

宮崎県認証ブランドの完熟マンゴー「太陽父・一徳さん(76)の農場を継ぎ、栽培を始めます。JAみやざき宮崎中央地区本部マンゴー部の会長を務める。マンゴーは一つ一つの果実にネットを包み、ネットに自然に落果するのを待つことで管理しやすくなり、作業効率が上がるといいます。近年では農業で使う資材費や燃料費が倍以上に高騰。売り上げを伸ばすために単価を上げ、出荷できない規格外を減らして、秀品率を3割以上上げることに成功したそうです。また、県外へのアピールにも取り組んでいる。JAと行政、生産者が一体となった結果、全国に知られるようになった。



マンゴー栽培に力を注ぐ横山樹園の横山洋一さん

横山さんたちは「100年続くマンゴー栽培を目指そう」と合言葉に、魅力ある栽培に、努力ある栽培(高鍋町)の研修を受け入れ、若手育成に力を入れる。「やればやるほど自分に返ってくる」と新たな特産物を目指してアボカドの栽培にも挑戦。「栽培技術を確認させ、おいしいものを届けたい」と動き出している。(平松征寛、大迫陽柊)

伝統と技術残したい

県民から親しみをこめ「日向かぼちゃ」と呼ばれる宮崎市の伝統野菜「黒皮かぼちゃ」。生目地区で栽培されてきたが、生産者が2戸にまで減り、消滅しようとしている。なぜ減ったのかを探った。外皮が硬く、深い溝があり艶やかな黒色をした黒皮かぼちゃは、12月から6月にかけて収穫される。全国に流通する西洋かぼちゃに比べ、煮ても焼いても崩れにくい滑らかな食感が特長だ。30年ほど前は300戸近い農家が栽培し、日本一の出荷量を誇った。「山黒皮かぼちゃ」としてブ



黒皮かぼちゃを育てる生産者の横山文男さん(右)と(左)吉賀さん(JAみやざき宮崎中央地区本部)

生産者減の黒皮かぼちゃ

ランド化され、8割以上が関西の高級料亭などへ出荷されている。生目地区では、つるが空間に伸びるよう支柱で誘引し、実を宙に浮かせる「立体栽培」をハウス内で行う。他の作物に比べて一つ一つが重く、運搬やつるを下げる作業は重労働で、高齢化による廃業や費用対効果の低いキュウリなどへの転換が相次いでいる。「伝統野菜と先駆者の技術が減少した理由の一つ。JAみやざき宮崎中央地区本部南平部会長の横山文男さん(65)は宮崎市吉吉は、7年前に父親の後を継いだ。盗んだ栽培は難しく、横山さんは自分なりに工夫(上杉千華、古賀詩織)

黒皮かぼちゃは苗作りから始まる。少量の水を一日3回ほどに分けて与えることで丈夫な苗を作る。気温が高くなりすぎると実が育たないため、温度対策も気を抜かない。「実は大きすぎても小さすぎてもいけない。最初にしっかりと手間をかけないと良いものができない」と話す。

私たちが取材しました

久留 彩奈 15	古賀 詩織 14	假屋 春彩 14
大迫 陽柊 14	平松 征寛 15	上杉 千華 14

宮崎市は2024年4月で市制100周年を迎えました

MIYAZAKI CITY 100

100周年記念事業

宮崎市フォトアーカイブサイト

宮崎市の歴史や文化、暮らしの風景の写真を数多く掲載しているサイトです。写真はどなたでも無料で利用が可能です。商用利用の場合は事前申請をお願いします。



お祝いメッセージ動画

市にゆかりのある著名人からのお祝いのメッセージ動画を、市ホームページや公式YouTubeチャンネルで絶賛公開中！プロ野球ソフトバンクホークスの「王貞治」さんや、宮崎市出身の漫画家「東村アキコ」さんをはじめ、30人を超える方からお祝いコメントをいただいています。

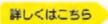


ロゴマーク・キャラクター

市制100周年を記念してロゴマークとキャラクター「みやねこ」を制作しました。デザインを手掛けたのは、東村アキコさん。ロゴマーク・キャラクターはどなたでも利用が可能です。市への事前申請をお願いします。



宮崎市制100周年記念 (左)ロゴマーク (右)キャラクター「みやねこ」



100周年記念イベント

記念イベント&市民パレード

市制100周年をみんなで祝うイベントや市民パレード「Smile Jamboree(スマイルジャンボリー)」を開催します。詳しい情報は、市ホームページにて随時更新します。

記念イベント 日時/令和6年11月23日(土) 10:30~18:00(予定) 会場/高千穂通り 内容/お祝いステージ、農の魅力発信、キッチンカー、アーバンスポーツ体験 など

市民パレード 日時/令和6年11月24日(日) 10:30~11:30(予定) 会場/高千穂通り・橋通り 内容/市内の吹奏楽団体による演奏、ダンスチームによるダンス、東京ディズニーリゾートスペシャルパレード ※同日の10:00~16:00、宮崎中央公園(文化の森)メインモールにて、キャラクター(ダッフィー)パレードの展示も行われます。



【東京開催】ふるさと交流会

宮崎ゆかりの方や企業関係者、宮崎ファンなど様々な方が参加する「宮崎市制100周年記念ふるさと交流会」を開催します。宮崎ゆかりの特別ゲストも参加するほか郷土料理も用意しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。日時/令和6年11月8日(金) 19:00~21:00(受付開始18:00) 会場/大手町プレイスホール&カンファレンス 2階ホール



宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会

アメリカの作曲家ラッセル・スタンガー氏が、市制70周年を記念して作曲した「交響詩みやざき」も演奏します。オーケストラの荘厳の演奏をお楽しみください。日程/令和6年12月8日(日) 場所/宮崎市民文化ホール



野村萬斎狂言のタバ

日本の伝統芸能である狂言を市制100周年記念事業として実施します。笑いを通して人間の普遍的なおかしさを描きだす狂言の世界を堪能してください。日程/令和6年12月19日(木) 場所/宮崎市民文化ホール

